

ぬかた便り

岡崎市立額田図書館
秋号 No. 44
2017年9月発行




夏の暑さも和らぎ、そよぐ風に秋を感じる季節となりました。

今回のぬかた便りでは『図書館』が登場する本を集めてみました。短編、ノンフィクション、ファンタジー、エッセイ、いろんな視点で『図書館』が書かれています。皆さんの『図書館』のイメージはどんなものでしょうか。

エッセイ




「図書室で暮らしたい」辻村 深月／著 講談社 914.6 ツシ 

日本経済新聞の夕刊に掲載された辻村さんの日々の暮らし、辻村さんの好きな本や映画の紹介、書いた本の解説などが収められた1冊です。中でも本・映画・音楽について書かれたエッセイを読むと、辻村さんの内側や記憶を覗くような気分になります。この本を読むと、より作者を身近に感じるかもしれません。 

短編





「図書館奇譚」村上 春樹／著 新潮社 913.6 ムラ 

図書館で本を返したついでに、気になっていた本を捜してもらおう。そんな何気ない日常のはずでした。その日常が突然崩れ去り…徐々に作者の世界に引き込まれていきます。次々と起こる出来事を経て、奇妙な世界にいる主人公。ちょっと本を見るだけだった主人公は、何故こんなことになってしまったんだろうと苦悩しますが…その運命はいつか？

ノンフィクション



「図書館ねこデューイ」ヴィッキー・マイロン／著 早川書房 645.7 ト 

アメリカのスペンサー公共図書館で起きた本当の物語。寒い冬の朝、返却ポストの中で小さく丸まっている子猫を図書館職員が見つけたことから物語が始まります。子猫はデューイと名づけられ図書館で飼われることになりました。デューイは人懐っこくて、全く物怖じしません。図書館でのデューイとさまざまな人々との関わりに、心が温かくなります。 

短編集



「廃墟建築士」三崎 亜記／著 集英社 913.6 ミサ 

もしも図書館に「意志」があるとしたら…。午前0時を過ぎると、本たちは自由に宙を舞います。本には性格があり、優雅に舞うものや、やんちゃに飛び回るものがあります。夜にしか見られない図書館の別の顔。そんな夜の図書館を覗いてみませんか？（第3話「図書館」）他にも建物にまつわるお話が載っています。

ファンタジー

「話虫干」小路 幸也／著 筑摩書房 913.6 シヨ



図書館の所蔵本である夏目漱石の「こころ」の中にく話虫（はなしむし）>が入り、内容が変えられてしまいました。物語を元に戻すため、糸井は上司と「こころ」の中に入りく話虫>を探します。く話虫>を探すうちに登場人物と親友になってしまったことで、「こころ」の正しい内容を知っている糸井は、次第に自分はどのように行動するべきかを悩みます。上司に助けられながら、糸井が最後にとった行動が物語に深く関わることに…。もし自分の好きな本に入ることができたなら、と空想したくなる一冊です。

「図書館の魔女 上・下」高田 大介／著 講談社 913.6 タカ



図書館の長を務めるマツリカは、耳は聞こえるが口のきけない「少女」。声の代わりに巧みな手話で饒舌に喋ります。主人公の少年キリヒトは、表向きは手話通訳者として仕えています…。図書館内のみならず国家規模で物語が展開し、司書なのに「軍師」だったり「スパイを操る」など、他にも魅力的なキャラクターが数多く登場します。会話シーンのテンポのよさも魅力です。本はかなり分厚いですが、その分物語の世界にどっぷり浸れます。

おまけ(レファレンスって?)

「おさがしの本は」門井 慶喜／著 光文社 913.6 カト



時期外れの人事異動により、市長秘書室から新しい副館長が転属されてきました。副館長は図書館の調査相談課（レファレンス・カウンター）の職員に、ある本を探すよう命じます。それはある企みによるもので…。職員たちは副館長の真意に気づくことが出来るのでしょうか？

くレファレンス・カウンターとは？>

図書館職員が資料や情報を探すお手伝いをするカウンターです。岡崎市立中央図書館には1Fにレファレンス・カウンターがあります。皆さんもお気軽にご相談ください。

「図書館のプロが教えるく調べるコツ」浅野 高史／ほか著 柏書房 015.2 ト



「探してる本が見つからない」「昔読んだ絵本をまた読みたい、でも題名が思い出せない」そんなことってありませんか？ひょっとしたら、図書館で見つけることができるかもしれません。レファレンス・カウンターの具体的な内容がマンガ・イラスト付きで書かれています。これを読んだら、きっと調べものをする時はレファレンス・カウンターに行ってみたくくなります。

『図書館』が登場する本の紹介でした。何か1つテーマを決めて本を選ぶと、いつもとは違ったタイプの本に出会えるかも知れません。本を選ぶ1つの方法として皆さんも試してみたいはいかがでしょうか。

岡崎市立額田図書館

Tel.82-2953

開館時間 9:00~17:00

休館日 水曜(祝日は開館します)